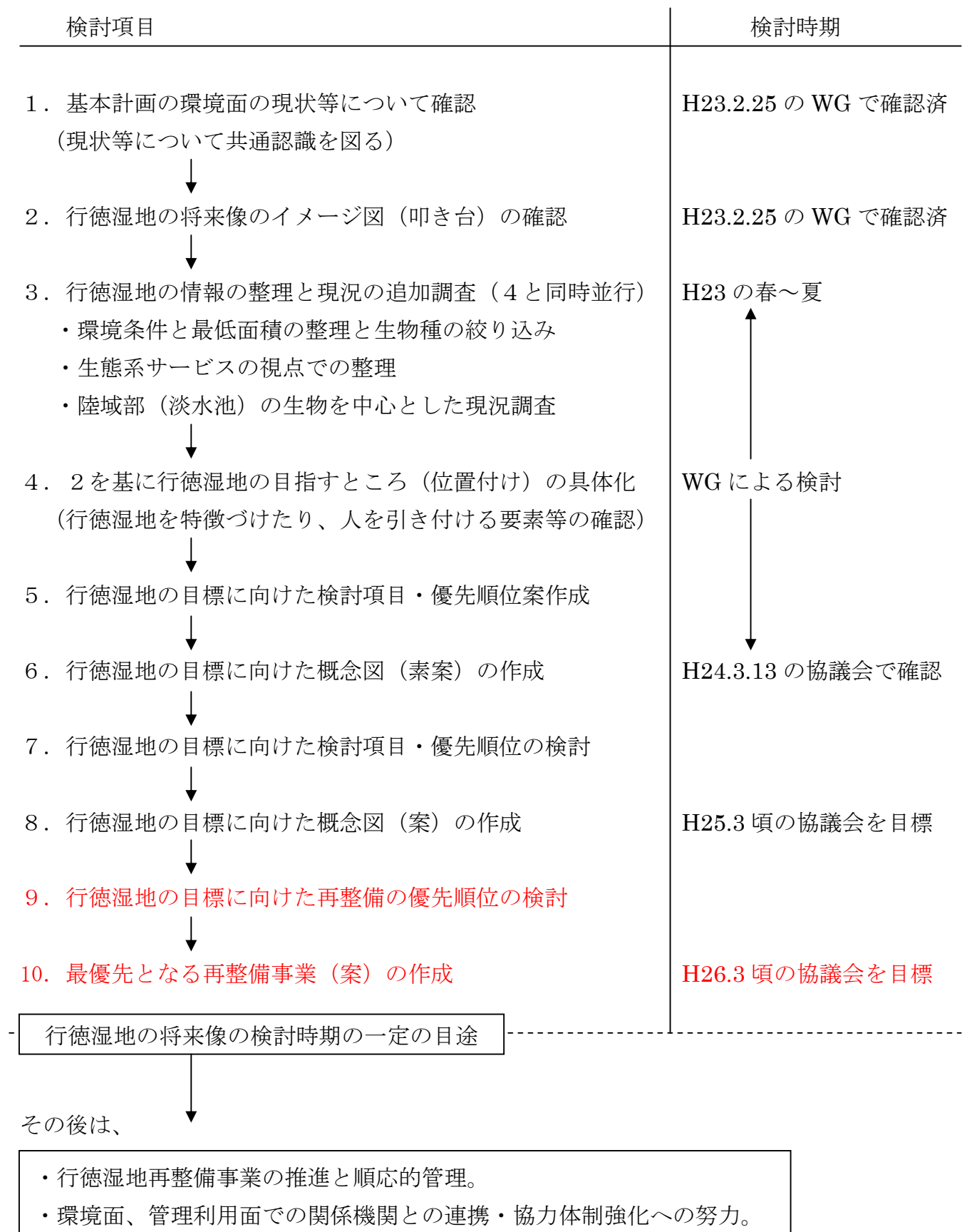


行徳湿地の将来像の検討の進め方



9. 行徳湿地の目標に向けた再整備の優先順位の検討

○再整備の内容は、触れ合い・体験ゾーン（仮称）の整備を中心とする。

【ハード面の整備】

①行徳野鳥観察舎へアクセスするための案内標識の充実

②UFO 島へ渡れる施設の整備

③ベカ船を利用するための栈橋の整備

【ソフト面の整備】

①ボランティアやインタープリターなどの人材の募集

②CSR を活用するための企業との連携

10. 最優先となる再整備事業（案）の作成

○最優先となる整備項目について、整備目的、整備手法、整備に係る概算金額、整備期間等を取りまとめ今年度の協議会で承認を得る。